Motorcycle Battery
MAXIMA
-High Powered-
－マキシマ・バッテリーチャージャー－

取扱説明書

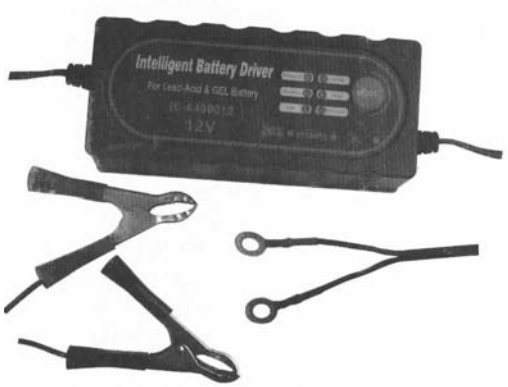
マキシマバッテリーチャージャー

型番：IC-A400012/12V

この度は「マキシマバッテリーチャージャー」をお買い求め頂き誠に有難う御座います。
ご使用を始める前にこの説明書をお読み頂き、安全に注意してご使用下さい。

目次

安全確保のための重要な説明・・2
使用上の注意・・・・・・・・・・2
特徴・・・・・・・・・・・・・・3
仕様・・・・・・・・・・・・・・3
インジケーターランプ・・・・・4
ご使用方法・・・・・・・・・・・5



Made In China

●安全確保のための重要な説明

1．バッテリーの充電作業の際、爆発性のガスを発生します。
バッテリー充電・放電作業をする際は、周りに可燃物がない環境にてご使用下さい。
万が一バッテリーが発火した時に消火できる環境、充電・放電の作業が目視できる環境のもと作業してください。
2．充電中はバッテリーを風通しの良いところに置いてください。
3．バッテリーの充電中は周囲でスパークをさせたり炎を上げる様な事をしないで下さい。
4．子供・乳幼児の手に届かない場所で作業を行ってください。
5．バッテリーの電解液が皮膚や衣服に付着した場合は直ちに石鹸と水で洗い流してください。
万一、目に入った場合は流水で２０秒以上洗い流して下さい。
その後、医師の診察を受けてください。

●使用上の注意

1．本製品でバッテリー充電をする際は、バッテリーを車両から取り外して充電をして下さい。
やむを得ず車載のまま充電する場合は、必ずアース側（マイナス端子）のケーブルをバッテリー端子から取り外してください。
2．バッテリーのケーブルは必ずアース（マイナス端子）から取り外してください。
3．液口栓の外せるバッテリーは液口栓をすべて外して下さい。
ただし、シール型鉛バッテリー（MFバッテリー）の密封栓は絶対に外さないで下さい。
4．充電クリップ（充電リングターミナル）はバッテリーの電極に合わせて正しく接続して下さい。
5．バッテリーの充電を開始する際は、バッテリーに充電クリップ（充電リングターミナル）を接続し、正しく接続されている事を確認してから電源プラグをコンセントに差し込んで下さい。
6．バッテリーの充電が完了した際は、バッテリーチャージャー側のコンセントを抜いてから充電クリップ（充電リングターミナル）をマイナス端子から外して下さい。
7．バッテリーを車体へ取り付けの際は、プラス端子から取り付けてください。

●特徴

多彩なモード選択により、オートバイ、自動車、四輪車（ATV）など様々な用途車両に使用できます。

自動的にバッテリーの容量を調節して最適な充電環境の中、充電をします。

バッテリーの診断をし、サルフェーションを起こしているバッテリーはリカバリーモードにてバッテリー性能の回復を試みます。

寿命を迎えたバッテリーやダメージを受けたバッテリーを診断する事ができ、バッテリーの交換時期を確認できます。

本製品はバッテリー充電が完了すると自動的に電源がOFFになります。また、その状態で放置をしてバッテリーの電圧が下がるとバッテリーに負担を掛けないフロート充電で自動的に再充電をします。

間違えてケーブルを逆に取り付けてしまった際は、インジケーターで表示をし、電源をカットします。

●仕様

入力電圧	100～120V AC, 50/60Hz
入力電流	Max. 0.5A
出力電圧	Max. 14.4V　14.7V　（モード選択）
出力電流	Max4.0A
バッテリーレンジ	IP65

●インジケーターランプ

Power On　電源が入っている時に点灯します。

Charger　バッテリーの充電を開始した時、充電中に点灯します。

Reverse　バッテリーターミナルとケーブルがプラス(＋)マイナス(－)が逆に接続されている時に点灯します。
※直ちに正しい接続にしてください。

Weak　充電をしようとするバッテリーに問題がある時に点灯します。
また、バッテリーが寿命を迎えた時やバッテリーにダメージがある時に点灯します。

OK　バッテリーの充電が完了した時に点灯します。

Recovery　充電をしようとするバッテリーの復旧、回復をしている時に点灯します。
※Recoveryのインジケーターが点灯してもバッテリーが寿命などにより復旧、回復しない場合もあります。

●充電モード

マキシマバッテリーチャージャーには３種類の充電モードを選択できます。
充電するバッテリーのタイプに合わせて選択してください。
バッテリーチャージャー上部にあるMODE（青いボタン）を押して充電モードを選択してください。

	モーターサイクルモード・14.4V/0.8A バッテリーの容量が2.3～14Ahのものに使用してください
	自動車モード・14.4V/4.0A バッテリーの容量が14～120Ahのものに使用してください
	寒冷地モード・14.7/4.0A AGMバッテリーの充電に適しております。 また、冷寒地での充電の際に使用してください

●ご使用方法

1．バッテリーの端子を確認のうえ、赤のクリップターミナル（リングターミナル）をプラス端子（＋）、黒のクリップターミナル（リングターミナル）をマイナス端子（－）に接続してください。
2．本製品の電源プラグをコンセントに差し込んでください。
3．接続が完了いたしますと"Power On"のインジケーターが緑色に点灯いたします。
緑色の点灯が確認できたら"MODE"ボタン（青色のボタン）で充電方法の選択をしてください。
※バッテリーの接続完了後"Reveres "のインジケーターが赤色に点灯した場合、バッテリーのターミナルとケーブルがプラス（＋）マイナス（－）が逆に接続されています。
直ちに正しい接続にしてください。
4．接続が完了し"Recovery"のインジケーターが青色に点灯した場合、接続したバッテリーの電圧が非常に低下している時に点灯いたします。
このインジケーターが点灯している時、チャージャーは電圧が非常に低下したバッテリーの復旧を試みます。
5．バッテリーの充電が開始されますと"Charger"のインジケーターが点灯いたします。
また、バッテリーのリカバリーが終了後、充電が可能になりましたら"Charger"のインジケーターが点灯し充電を開始いたします。
"Recovery"インジケーターが点滅した場合、リカバリーが出来ず何らかの原因でバッテリーの充電が出来ませんのでバッテリーをターミナルから外してください。
※"Charger"インジケーターは点灯いたしません。
6．"Charger"のインジケーターが点灯している間は充電中です。
充電が完了しますと自動的にフロート充電モードになります。
7．本製品の"OK"のインジケーターが点灯しましたら充電完了です。
8．充電完了後、ターミナルケーブルを長期にわたり接続をしておきバッテリーの電圧が低下してくると再度充電を開始し"Charger"のインジケーターが点灯いたします。
9．"Weak"のインジケーターが点灯した場合、充電作業を行いましたが電圧の回復が出来なかった時に点灯します。
本体をコンセントから外し、バッテリーからクッリップターミナルを取り外してください。